

社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院

進取の精神で地域のニーズに応え、 最善の医療・福祉サービスを提供

兵庫県西宮市 社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院 院長・整形外科部長 佐々木 健陽 先生

故・渡邊高名誉理事長が1965年に開設した西宮渡辺病院は、5つの診療科で病床数70床からスタートしましたが、現在は17の診療科と病床数192床にまで発展しています。2013年に院長に就任した佐々木健陽先生は、渡邊名誉理事長の「地域の人々の健康を守るために、常に最善の医療を追求する」という理念を引き継ぎ、地域の人々のための医療と健康に尽力しています。

■地域社会のニーズにさらに応えるために兵庫県で初めて社会医療法人格を取得

西宮渡辺病院が開設された当時は、近隣には医療機関は少なく、地域住民に対する医療は十分とは言えない状況でした。渡邊名誉理事長は、「地域の人たちに必要な医療は何か」を常に考えながら、CTなどの最新医療機器を導入する他、救急医療の充実を図りました。労働災害で重症を負った患者さんを積極的に受け入れるなどして、「断らない救急医療」を実践し、高度な救急医療に対応する病院としてその名を知られるようになっていきました。また、増加する循環器系の疾患に対応すべく、1996年に心臓血管外科を開設。2006年の西宮渡辺心臓・血管センターの設立につながっています。その他、住民の高齢化にあわせて介護分野にも着手し、グループホーム、デイケアや疾病予防運動施設などの運営を行っています。



「スタッフの個性はそれぞれですが、自分の能力の100%を患者さんに提供してほしい」と望む佐々木先生。子どもがいるスタッフにも長く働いてもらえるように、保育士がいる院内保育所が設置されており、常に約20名の子どもが在籍しています。

2013年には介護老人保健施設やグループホーム、介護サービス付き高齢者向け住宅、通所リハビリなどの複合施設『ハートケア西宮わたなべ福祉の郷』を設立し、医療・介護のさまざまなニーズに応えています。「渡邊名誉理事長は、地域の人々のニーズに応える形で事業を展開していました。『病院機能の全ては地域のためにある』という考えから、2010年に兵庫県で初の社会医療法人に指定されました。これを機に、なお一層努力していきたいと考えています」と佐々木先生は話します。

■専門性の高い医療を追求しながら、手の行き届いたケアも実践



入院、外来の患者さんが利用するリハビリ室。34名のスタッフが回復期、亜急性期、訪問リハビリに当たっており、急性期から在宅に至る一貫したリハビリを行っています。



2009年に開設された西宮人工関節センターでは、人工膝関節・人工股関節の手術を人工関節外科専門医が2012年までに400例以上行っています。2012年からは、正確な人工関節を設置し、術後の合併症を減少させるため、3次元CTシミュレーションを利用しているそうです。

佐々木院長の専門は整形外科で、整形外科部長も兼任しています。整形外科では大阪市立大学名誉教授の高岡邦夫先生が顧問として、人工関節手術や整形外科外傷など専門性の高い診療を実践しています。高齢者の大腿骨近位部骨折については、手術から退院までリハビリ科や医療相談員と連携して治療を行います。退院後のケアが必要な場合には、地域の開業医に紹介し、患者さんが訪問診療や訪問リハビリ、デイサービスなどを利用しやすいように配慮するなど、手の行き届いたケアを実践しています。また、開放型病院として、患者さんのかかりつけ医と連携する入院治療も積極的に行っています。佐々木先生は同院に25年前から勤務しており、地域との関係が深く、渡邊名誉理事長の考えを深く理解した上で、院長を引き継ぐことになったそうです。「さまざまな整形外科の疾患を診療してきて感じるのには、地域の人々にトレーニングさせてもらったということです。ここで得た知識や技術を地域の皆様に還元すべく、研鑽を重ねています。診療の際には、疾患や治療法について多くの情報を提供した上で、患者さんに選択してもらうようにしています。私の考えを押し付けることなく、その選択を尊重したいというのが私の考えです。」

地域にこだわり、患者さんのニーズにいち早く気付いて、他の医療機関よりも先に取り組んだという創設者の志を継承する同院では、本院で大腸ポリープの早期発見を目的とする大腸CT検査を開始し、高齢者には臨床心理士による認知症やせん妄に対応しやすい体制をつくり、西宮渡辺心臓・血管センターでは“低体温療法”を導入するなど、さらに新しい治療法へ積極的に取り組んでいます。「保守的になることなく、新しい技術や知識を取り入れながら、地域の人たちの健康を守っていききたいですね」と佐々木先生は語り、地域住民の明日を見据えた展開をしています。

<http://www.n-watanabe-hosp.jp/>

(2013年9月取材)